

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年8月11日～8月17日)

2020年8月20日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ミンスクにおいて、大統領選挙の不正とルカシェンコ退陣を訴える「自由への行進」が実施される(8/16)
- ルカシェンコ大統領、二度に亘るプーチン露大統領との電話会談(8/15、16)
- 中央選管、各候補の最終得票率(得票数)を公表(8/14)
- 日本外務省、ベラルーシ当局に対し民主主義の原則を確保すること及び暴力を行使しないことを要請(8/11)

【ルカシェンコ大統領動静】

● ミンスク装輪トラクター工場訪問(8/17)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・どこかの企業で150人、200人がデモに参加しようと、何もできない。人々が路頭に迷わないように多めに雇用していた。従って、働きたい者は、働けばよい。働きたくない者は、働かなくてよい。

・あなた方は経済の構成主体である。あなた方が出て行った場所には、別の法律がある。後で痛い思いをしないように警告しておく。

・現在、権限分割に関連する憲法の改正作業に入っている。この憲法を誰かよく分からない者に渡してはならない。大統領権限を分割する用意がある。しかし、それは、圧力の下、通りを介して(デモを通じて)行われるわけではない。

(8/17 大統領公式ホームページ)

● 独立広場における集会、演説(8/16)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ゴメリの方々に感謝申し上げます。我々は、非常に辛い四半世紀を共に生きてきた。あなた方は、私を一度も陥れなかった。モギリョフとヴィテプスクの同胞よ、感謝する。私の若い頃、もっとも辛い時期、軍役の時代を過ごしたプレスト市、プレスト州の人々よ、感謝申し上げます。グロドノのみなさま、1990年代半ば、選挙運動をあなた方と共に始めた。感謝する。ミンスクの皆様、四半世紀に亘り、地方からきた私を我慢してくれてありがとう。

・私があなた方を呼んだのは、あなた方に私を守ってもらうためである。あなた方がここにきたのは、四半

世紀で初めて、この国を、独立を、家族、妻、姉妹、子供を守るためである。

・1990年代半ば、巨大な帝国(ソ連の意)を破壊した。我々は、その帝国の血にまみれた一部を受け取った。その時、あなた方は何を求めたであろうか。あなた方は、パン一斤を、給料を、工場稼働を、トラクターを、コンバインを、農場救済を求めた。当時、あなた方は、工場を民営化しないよう、農家から土地を取り上げないよう、医療や教育の有償化を行わないよう、将校や兵士に栄光を取り戻すよう求めた。あなた方は、非常に若く、経験不足の私に、国民を深淵から引き出すよう求めた。我々は、それを実現した。

・あなた方(集会に来た人々)だけではなく、この広場にいない、迷ってしまった方々(デモ参加者)にも言葉を向けたい。まず、「何を求めているのか」を問いたい。自由化。であればどんな自由であろうか。変化か。であればどんな変化であろうか。改革か。であれば明日から始めよう。

・新政府の設立が提案されている。ベラルーシに外国の政府は不要である。我々に必要なのは、我々自身の政府であり、我々自身の指導層である。

・私は、決して、我が国の崩壊に向かうことはしない。私は決して、あなた方とともに作り上げたものを破壊する方向に進むことはない。

・今日、家族、軍人、国家公務員に対する脅威が吹き荒れている。情熱を持って戦うように警告する。兵士よ、国家公務員よ、農民よ、医師よ、教師よ、我々知識層は、自身と家族を守る能力がある。あなた方、そして、デモ参加者に、教師に触れないよう求める。彼らは学校の準備がある。医師に触れないように求め

る。彼らは新型コロナウイルスのレッドゾーンから出てはならない。国営メディアの記者とその家族に触れないよう求める。人々を暴力的な抵抗に促さないでくれ。世界が羨望する、平和で繁栄し穏やかな国に恥をかかさなでくれ。

・私は現実主義者である。デモ参加者が我々に穏やかな生活を与えることはない。今彼らは落ち着いたとしても、時が経てば、自分の巣穴から出てくるネズミのように、本性を見せるだろう。彼らは、人形使いである他人に操られているのである。彼らは、西側の国境を1939年と同じように、ブレストではなく、ミンスクと考えている。我々は、ブレスト英雄要塞になろう。国を渡してはならない。ベラルーシ国民よ、まだ間に合ううちに自分の頭で考えよう。あなた方は、私だけを支持するためではなく、国を守るためにここに来たのである。

・私が病気になったとか、死んだとか、ロクでもない情報が飛び交っているが、私は、生きているし、今後も生きる。あなた方が国を守るために。私はあなた方を一度も裏切ったことはないし、今後も裏切るつもりはない。

(8/16 大統領公式ホームページ)

●プーチン露大統領と電話会談(8/16)

両国大統領は、ベラルーシにおける状況について協議した。プーチン露大統領は、ベラルーシ周辺で形成されている状況について見解を述べた。両国大統領は、全ての問題に関する基本的協議を実施し、外部からの脅威による状況の激化に際して両国が集団安全保障に関する規定に従って共同で対応していくとの合意を再確認した。

(8/16 大統領公式ホームページ)

●国防省戦略管理センターにおける会議(8/16)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・(国外の干渉が)少しずつ、国内情勢と社会を煽り始めている。ついに労働団体にまで到達した。しかし我々は国を誰にも渡すことはない。

・リトアニア、ラトビア、ポーランド、そしてウクライナの

首脳が、ベラルーシ政府に何らかの仲介を提案した。この仲介とは、誰と誰の間の仲介であろうか。ベラルーシ政府に提案している限り、我々はどちらか一方であろう。もう一方は、誰のことであるか、明言されていない。最近、「救国戦線」やら、「亡命政府」やら設立されたと理解している。しかし、憲法によって設立された正常な政府が存在する。外国の政府や仲介は一切不要である。

・軍や治安当局の家族や子供に対し脅迫する人々は、結果として何が起こりうるのか理解できていないようである。男性であれば、男性同士で闘い、喧嘩し合えばよい。しかし、前線に女性を立たせ、家族を脅す必要はないだろう。

・政権が弱まった、怯えている、大統領が逃げた、病気がした、死亡したなど思っているようであれば、期待しないで欲しい。現在、私には、独立した安定的な国を維持すること以外、何の目的もない。

・ポーランドとリトアニアにおいて NATO の軍事演習が予定されており、懸念している。何も起こらなければよいが、軍事要素の増加が見られる。

・西側国境の緊張状況のため、ヴィテプスクからグロドノへ空挺軍の配置転換を要請する。あなた方がブレスト州にて働き、秩序を維持していることに感謝する。ブレストにおいては我々の空挺軍をそのまま配置しておき、南西部の安定化のため、空挺軍は国境管理者と相互に機能するように

(8/15 大統領公式ホームページ)

●プーチン露大統領と電話会談(8/15)

両国大統領は、ベラルーシ国内外に形成されている状況について協議した。

(8/15 大統領公式ホームページ)

●独立宮殿における会議(8/15)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・政府は、大統領選出後、権限を解除する。全ての書類の準備を行い、署名し、政府に対し、政府の最終的な公正の形成まで権限を継続するよう要請する必要がある。

・我々は、かなり前に、国民に対し、政府を形成し、選挙後大統領が誰と働くのかを見せると公表した。

・基本的に現在の政府は形成されている。ゴロフチェンコ首相とも話したが、彼はその場で働いており、全員働いている。つまり、政府は機能している。ただ、法律的に効力を発するため大統領決定を作成し、採択する必要がある。

・経済が最重要事項である。様々なメディアが、通りにてよ、ストライキをせよと煽っている。好きなようにストライキをすればよい。ただ、工場で彼ら(ストライキ参加者)がやることは何もないだろう。各工場の経営陣には作業員に警告するよう要請する必要がある。圧力をかけてはいけませんが、我々は誰かにペコペコし、跪くつもりは一切無いと言う必要がある。

・国内情勢について我々は国内で何が起きているか見ている。平和的デモによって我々を寝かしつけようとする必要は無い。カラー革命の手法に向けた国外からの干渉の要素が現れてきた。

・ベラルーシに対する侵攻が展開されている。プーチン露大統領と話す必要がある。なぜならば、これはベラルーシにとってのみならず、幾つかのロシア人にとっての脅威となっているからである。

(8/15 大統領公式ホームページ)

●国家安全保障会議メンバーと会議(8/14)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシではなく、ミンスクにおける情勢について協議したい。悲劇や緊張状態が発生しているとは言わないまでも、解決する必要がある問題は十分にある。

・既に我々が見ているように、全ての出来事の首謀者は、国外の人々である。そして、犯罪的経歴を持つ人々である。

・私は、デモ鎮圧において暴力が行われたことに対し、誰かを責めることはできない。ただ、内務大臣及び皆さん、デモ参加者が転んで寝ているのであれば、殴る必要はない。つまり、一定のブレーキが必要である。

・(国外からの干渉に対し)通りにでしゃばって出てこないでほしい。あなた方や我々の子供達は、大砲の

餌食として使われている。ポーランドやオランダ、ウクライナ、そしてロシアから、色んな人が来ている。既にベラルーシに対する侵攻は始まっている。

(8/14 大統領公式ホームページ)

●建設分野に関する会議(8/14)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・(国内外メディアが、同大統領が海外に逃亡した可能性があると報道したことをうけ)私は、まだ生きており、出国していない。本日は8月14日であり、建設分野について協議するために会議を行っている。

・ストライキについて、もし企業が機能しなくなれば、他国のプレイヤーに市場を奪われてしまう。ベラルーシカリが数日機能不全に陥れば、カナダやロシアの競合に市場を取られるであろう。

・ミンスクトラクター工場、ミンスク自動車工場において生産が止まれば、ドイツと米国がロシア市場を席卷するであろう。

・新型コロナウイルスにより制限を受けていた経済が動き始めており、全世界で市場を求め戦っている。今我々が止まれば、二度と我が国の製造を上げていくことは出来なくなる。

・一つ例となる報告を受けた。ミンスク自動車工場とミンスクトラクター工場で、20人の作業員が作業を中断し、経営陣に対し自身の意見を述べに来た。幹部が「我々に人は足りている。給料は彼らのためにある。」と伝えると、彼ら(20人の作業員)は引き返し、仕事に戻ったそうだ。人々には、これが、企業を救う最後で唯一のチャンスであると説明する必要がある。

・建設分野の上半期の成長率は昨年同期対比で6%であった。建設分野における最大の課題は、住宅建設である。

(8/14 大統領公式ホームページ)

●資源燃料分野に関する会議(8/13)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・資源燃料分野の戦略的発展の展望をみよう。我が国の経済と国家安全保障は、同分野に掛かっている。

・多額の資金を投じ、燃料システム、製油所等の設備

の近代化を実施し、同分野における我が国の設備の水準は、欧州の先進国と同様なものとなっている。

・現在、我々は史上最大の投資案件である、オストロヴェツ原発を実現している。第一ブロックの建設は完了し、原子炉に燃料が積み込まれた。

・ナフタンとモズィール製油所の近代化はそろそろ完了する。2020年と2021年の石油供給と石油精製の計画について知りたい。

・余剰分の石油や石油精製品の保管のためのインフラはどうなっているだろうか。

・現在、2030年までの石油複合施設の開発の戦略が作成されている。

(8/13 大統領公式ホームページ)

●サルキシャン・アルメニア大統領と電話会談(8/11)

サルキシャン・アルメニア大統領は、ルカシェンコ大統領の大統領選挙での勝利を祝福した。また両者は、多様な分野における協力の発展の展望について協議した。

(8/11 統領公式ホームページ)

●食糧分野に関する会議(8/11)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・新型コロナウイルス感染拡大による、6ヶ月以上にわたり困難な状況にあった。しかし、我々は輸出量を維持することができた。

・加工のシステムは、新型コロナウイルスの影響をうけない。原料は豊富であった。農家は作業を止めず、例年より豊作である。全世界が国境を閉ざし、経済を止めた。しかし我々は働いている。市場は開放されており、販売をしていこう。

(8/11 大統領公式ホームページ)

外交

●グラス外務省報道官、EUのベラルーシに対する制裁の準備に関しコメント。

グラス外務省報道官は、「制裁は、政策の終わりである。そのため、ここでの大きな問題は、EUにおいてベラルーシに対する政策があるのか、という点にある。

ベラルーシの外交政策上、EUは優先度の高いパートナーである。そのため、どんな状況にあっても、我々は、EUとのコミュニケーションの維持、対話をする用意がある。」と述べた。

(8/15 ベラパン通信)

●ベラルーシ政府、ロシアへ拘束していた露民間軍事会社戦闘員32名を引き渡す。

(8/14 ベラパン通信)

●日本及び、EU各国、英、米、スイスの大使・大使館員、抗議運動の最中に死亡した参加者へ献花を実施。

(8/13 ベラパン通信)

●日本外務省、ベラルーシ当局に対し、民主主義の原則を確保すること及び暴力を行使しないことを要請。

(8/11 ベラパン通信)

経済

●2020年上半期、赤字企業数、去年同期対比約32%増加。

(8/17 ベラパン通信)

●2020年上半期、純利益総額、去年同期対比61%減少。

(8/17 ベラパン通信)

●ベラルーシ企業債務残高、年始対比12%上昇。

(8/17 ベラパン通信)

●2020年上半期、貿易高、去年同期対比18%減少。

(8/11 ベラパン通信)

●2020年上半期、ベラルーシへの海外直接投資額、去年同期対比6億ドル減少。

(8/11 ベラパン通信)

軍事・内政

●ベラルーシ各企業にて選挙結果や治安当局の暴力に反対する集会やストライキが発生。

・8月10日(月):ベラルーシ冶金工場(BMZ)にてストライキ実施

・8月11日(火):以下、2社にて集会実施

- (1)コズロフ電子技術工場
- (2)ミンスクトラクター工場(MTZ)

なお、ベルシナ社にてストライキ発生と情報が拡散されるが、同社経営陣は否定。

・8月13日(木):以下、6社にて、集会実施

- (1)ベラズ社
- (2)ケラミン社
- (3)グロドノ住宅建設社
- (4)ベルメドプレパラティ社
- (5)ソビエト地区建設社
- (6)マピド建設社

・8月14日(金):以下の企業を始めとする20社近くの企業にて、ストライキや集会が実施。

- (1)ベルカルド社(自動車部品工場)
- (2)ベラルーシ冶金工場(BMZ)
- (3)ベラルーシカリ社
- (4)グロドノ産業建設
- (5)ミンスクケーブル社
- (6)ミンスクトラクター工場(MTZ)
- (7)ミンスク装輪トラクター工場(MZKT)
- (8)ミンスクモーター工場(MMZ)
- (9)ミンスク地下鉄
- (10)ミンスクマーガリン工場
- (11)インテグラル(電子機器製造会社)
- (12)グロドノ窒素
- (13)ケラミン社
- (14)ヒムヴォロクノ社(化学繊維製造会社)
- (15)ベラルーシ原発(オストロヴェツ原発)

・8月17日(月):以下、10社にてストライキが

実施される。

- (1)ベラルーシカリ社
 - (2)ベラズ社
 - (3)ミンスクトラクター工場
 - (4)ミンスク自動車工場
 - (5)ミンスク装輪トラクター工場(MZKT)
 - (6)ベラルーシテレビラジオ会社
 - (7)ベラルーシ冶金工場(BMZ)
 - (8)ベルエネルギー社
 - (9)ケラミン社
 - (10)グロドノ住宅建設
- (8月11日~17日、各種メディア)

●ミンスクにおいて、ルカシェンコ大統領支持団体による集会が実施される。

参加者数は数万人とされ、ルカシェンコ大統領の演説も実施された。

(8/16 ベラパン通信)

●ミンスクにおいて、大統領選挙(8月9日実施)の不正とルカシェンコ退陣を訴える「自由への行進」が実施される。

参加者数は20万人以上とされ、ベラルーシ史上最大規模であった。

(8/16 Naviny.by 通信)

●コレスニコヴァ・ババリコ氏陣営の責任者、「自由への行進」において演説。

演説の概要は以下の通り。

・ここに一緒に集まってくれた全ての働き手、教師、医療関係者、官吏、治安機関職員に感謝する。今起こっていることに対して不同意の意思表示を続けてきていること、ストライキを続けていること、自由ではない選挙の結果を認めずにいること、我々を支持してくれている行動すべてに感謝する。我々が不同意の声を上げれば上げるほど、変化は早く訪れる。過去26年間で初めて、我々は自由な欧州の国民であり、共に勝利できると感じている。

・工場の労働者たち、国営テレビとメディア関係者、公務員、外交官、治安機関に対して呼びかける。これは最後のチャンスだ。恐れず闘ってほしい。今まで我々は恐れ続けたが、今や恐れることをやめた。恐怖を乗り越えて我々の側に来てほしい。我々はあなた方を支持するし、あなた方と共にある。愛は恐怖より強い。

・我々はまた騙されようとしている。26年もの間、我々は嘘ばかり聞かされ、空疎な約束ばかりされてきた。我々は人生のうち26年を盗まれた。自由も選挙も盗まれた。でも、もう騙されない。

・我々は今、即時の暴力停止を求めている。昨日も今日も犠牲者が出ている。拘束されてからまだ解放されていない人々もいる。こんなことは通らない。我々は明日(17日)、人々の死、市民への暴力、治安機関の違法行為の事実に基づいて刑事事件を提起する。デモ参加者やただの通行人に対して暴力を働いたすべての者は、ベラルーシ共和国の法律に従って責任を負わなければならない。

・ババリコ氏、チハノフスキー氏らを含む政治犯全員と、拘束されている4000人の即時解放を要求する。治安機関員の行為で被害を受けた全ての人々が補償を受けられるようにすべきである。

・我々の主要な要求を言う。「元」大統領は引退しなければならない!(周囲から「去れ!」の掛け声。)悪夢の26年間は終わらなければならない。彼は、国を暴力の底に沈めた。これを続けさせてはいけない。(周囲から「人殺し!」の掛け声。)

・我々はチハノフスカヤ氏の公約を全面的に支持する。彼女の公約のうち最重要なもの一つは、新たな、公正な、開かれた選挙の実施である。独自の投票集計によると、チハノフスカヤ氏は8月9日の選挙で勝利していた。

・ルカシェンコはベラルーシ国民にとっての脅

威であるのみならず、国家の独立に対する脅威でもある。ベラルーシは独立した主権国家だ。ベラルーシの主権は商取引や議論の対象となるものではない。

・政権側は権力を固持するためにどんなことでもするつもりであることを我々は知っているが、先週起こった出来事は現政権をおびえさせた。権力は壊れかけたおんぼろ自動車となっており、今にも崩れつつある。現政権が退陣しない限り、ベラルーシが自由な国にならない限り、我々は静かにならないし、止まらない。ベラルーシは並外れて素晴らしい。

(8/16 Tut.by 通信)

●チハノフスカヤ候補、新たな動画メッセージを公開。

メッセージの概要は以下の通り。

・ベラルーシは、自身の歴史の困難な時代に直面しており、抗議の日々で命を落とした者を埋葬する時、みんなと共に泣いている。

・私のキャリアに、幻想はない。私は政治家になりたくなかった。しかし、運命が、専横と不公平との闘いの前線に私を導いた。私を信じ、私に力をくれたのが、運命とあなた方である。今、毎分、私は、あなた方の勇気と、自己組織力と、あなた方が如何に強く、輝いていることに感動している。

・あなた方は、私に、自身の票を投じた。私はそれを高く評価し、あなた方がそれをやってのけたと知っている。我々は全員、26年前に始まった終わりのないサイクルから飛び出すことを求めている。私は、ベラルーシが落ち着き、通常状態に戻れるよう、そして、全ての政治犯の釈放をし、最短期間で新たな大統領選挙の実施に向けた法律上の基礎を整えるため、責任をもって、国民のリーダーとして勤める用意がある。ここ数ヶ月で、ベラルーシ国民が自身で組織化でき、正しい決定を行い、自身と近い者のために立ち上がれるということが、全世界

界で明らかになった。しかし最も重要なことは、我々自身がそれを認識することである。

・この建設的なエネルギーや、社会における肯定的変化、我々が得た決意を失ってはいけない。私は、ベラルーシの独立が最も重要であると理解している。独立は、どんな状況においても失ってはならないものである。多くの投票地区において選挙管理委員会が、政権の圧力を無視し公正に票の集計を行ったことを知った時、治安部隊員が平和的なベラルーシ人の足に自身の盾を置いたと知ったとき、あたしの心は愛と誇りに満ちた。これはこの解放の時代を象徴する行動として歴史に残るであろう。

・ベラルーシ人は、暴力を受け入れない人々であり、鷹揚で、公正である。あなた方(治安部隊)が犯罪的な命令を実行せず、国民の方に来れば、彼らはあなた方を許し、支援し、今後汚い言葉で批判することはない。あなた方は、自身で分かり、理解しているでしょう。なぜなら、我々は一体となっている存在であるが、誰かが破壊し、けしかけようとしているのである。我々はベラルーシ国民である。我々は、お互いに対して手をあげる権利をもっていない。我々は、冷静な頭で状況を評価し、「この対立は、誰にとって利益があるのか。誰が、ここから最も大きなメリットを引き出すのか」と簡単に問いかけるべきである。我々は一体であり、もし、あなた方の意図が清廉であり、後悔が真実であれば、いつでもあなた方を受け入れよう。

(8/17 Tut.by 通信)

●チハノフスカヤ候補、政権移行評議会の設立構想を公表

(8/14 Naviny.by 通信)

●ババリコ陣営、当局に9月15日までの再度選挙実施を要請。

(8/14 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ候補、第三回動画メッセージ公開

メッセージ内容の概要は以下の通り。

・我々は、直近数ヶ月間で不可能なことをやり遂げた。半年前は、ベラルーシ国民が団結して前政権(ルカシェンコ政権)に「いいえ」と言えると、誰も信じられなかった。しかし、これは成功した。我々は投票所に行き、法律に従い、平和的に、尊厳を持って自身の選択を行った。

・我々、「変化」の支持者は、多数派である。それを証明する書類、プロトコル(各投票所の集計結果)のコピーがある。そこでは、選挙委員会は公正に票を数えた。私の得票率は60~70%であり、ノーバヤ・バラヴァーヤ区では90%であった。ベラルーシ国民がこれまでの政権と共に生きたいと欲することは、今後もうないであろうし、多くの人がルカシェンコ大統領の勝利を信じていない。

・ベラルーシの全市長に対し、8月15日及び16日に、各市において平和的かつ大規模な集会の主催者として登壇することを求める。

・中央選管に対し、独立した監視団の立ち会いの下、再集計することを要請する。

・検事総局に対し、大統領選挙における虚偽に関し、法律遵守の検査を実施することを要請する。

(8/14 Naviny.by 通信)

●中央選管、各候補の最終得票率(得票数)を公表(8/14)

ルカシェンコ大統領	80.10%(4,661,075 票)
チハノフスカヤ候補	10.10%(588,622 票)
カノパツカヤ候補	1.67%(97,489 票)
ドミトリエフ候補	1.21%(70,671 票)
チェレチェニ候補	1.14%(66,613 票)
全ての候補に反対	4.59%(267,360 票)

なお、全投票数は 5,818,956 票で、うち 2,806,640 票 (48%超) が期日前投票であった。

(8/14 Tut.by 通信)

●ツェブカロ氏、救国戦線の設立を公表

(8/13 「選挙」通信)

●IT 企業、ベラルーシ国民に対する暴力の中止要請する公開レターを政府へ送付。

同公開レターには、IT 企業 25 社の約 40 名の経営者と社員が署名した。

(8/12 ベラパン通信)

●インターネット接続復旧

国立トラフィックセンターは、「12 日、ベラルーシ通信企業や国家組織のサイトに対する DDoS 攻撃(分散サービス妨害攻撃)の減少が見られた。インターネット接続は完全に復旧した。」と公表した。

(8/12 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ候補、第二回動画メッセージ公開

メッセージ内容の概要は以下の通り。

・私、スベトラーナ・チハノフスカヤは、皆様の大統領選挙への参加に感謝申し上げます。ベラルーシ国民は自身の選択を行った。

・感謝の念と温かさを持って、この期間に私を支援してくれた全ての国民に言葉を贈る。私は皆様に対し、生命を危険にさらさないために、警察に抵抗しないよう、そして、広場には出ないよう要請する。自身と親戚を大切に。

(8/11 Onliner)

●チハノフスカヤ候補、第一回動画メッセージ公開

メッセージ内容の概要は以下の通り。

・今回の選挙活動は、私が全てを耐えきれ

ほど、私を強くし、力をくれた。しかし、恐らく、私は、最初の頃の弱い女性のみままであった。私は、自分にとって非常に辛い決定を行った。この決定は、絶対的に自身の意思で行った。友達も、親族も、私の陣営も、セルゲイ(注:チハノフスカヤ候補の配偶者で反体制派有名ブロガー)も、この決定に影響を及ぼすことは出来なかった。私は、多くの人が私を理解してくれること、多くの人が私を批判し、嫌悪することを知っている。しかし、私に立ちはだかった選択が如何にひどいものかお分かりだろうか。皆様、どうか気をつけて。今起こっていることには、一つの命をかける価値はない。子供達こそ、我々の人生の中で最も大切なものである。

(8/11 Onliner)

●チハノフスカヤ候補、リトアニアへ国外脱出

リンケヴィチュス・リトアニア外務大臣は、「スベトラーナ・チハノフスカヤ氏は安全である。彼女はリトアニアにいる。」と強調した。8 月 10 日夜、チハノフスカヤ候補が選挙結果への不服申し立てを提出するため中央選管を訪ねた際、選管の建物内に引き留められた、との情報が入っていた。当局は同情報を否定していた。

(8/11 Onliner)

(了)